

◎ 地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

◎ 『北海道つながるモール～SOS掲示板～』掲載企業募集のご案内（札幌商工会議所）

◎ 助成金情報（公益財団法人 北海道地域活動振興協会）

◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ JR北海道車内誌「The JR Hokkaido」11月号の掲載情報

JR北海道車内誌には、「わが村は美しく－北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。11月号では第10回コンクールで奨励賞を受賞した「やくも元気村」（八雲町）について紹介されています。

JRにご乗車の際は、ぜひご一読ください。

「やくも元気村」については、わが村HPでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa000000g408-att/slo5pa000000g457.pdf

◎ 広報誌「開発こうほう」11月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しく－北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。11月号では第6回コンクールで奨励賞を受賞した「JA めむろ（めむろファーマーズマーケット運営協議会）」（芽室町）について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが村は美しく－北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご覧ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「JA めむろ（めむろファーマーズマーケット運営協議会）」については、わが村HPでもご紹介しております↓

<http://wagamura-net.jp/contest/06/dantai1/6132.html>

◎JIMOTO新聞にわが村団体を紹介する記事が掲載されました！

釧路新聞・十勝毎日新聞・室蘭民報・苫小牧民報・函館新聞の道内新聞社5紙が地元を盛り上げる応援企画「JIMOTO プロジェクト」をたちあげ、春と秋の年2回「JIMOTO 新聞」を発行しています。

10月25日発行のJIMOTO 新聞 Vol.18 にわが村団体を紹介する記事が掲載されました。

各紙の発行エリアごとに3団体、合計15団体の活動が紹介されています。

JIMOTO 新聞は、道内5紙の購読者に配布されるほか、JR札幌駅内の北海道さっぽろ観光案内所、北海道庁1階の広報コーナー、各地域の行政・観光施設及び道の駅などでも配布されています。

また、下記 URL から JIMOTO 新聞のPDF 版が閲覧できますので、ぜひご覧ください。

【十勝毎日新聞（電子版）JIMOTO 新聞 Vol.18】<https://kachimai.jp/media/jimoto18/>

【わが村コラム】

今回ご紹介するのは、斜里町にある「株式会社 知床エゾシカファーム」（第4,5,6回コンクール参加団体）で加工・販売しているエゾ鹿肉製品です。

「株式会社 知床エゾシカファーム」は、平成19年に、エゾシカの農林業への食害や交通事故が増加している状況を打破するため、鹿の駆除・有効活用（食用肉、革製品等の生産）の事業として

設立されました。活動は、農林業被害や交通事故の防止のみならず、自然保護や新たな雇用の場の創設など、幅広く住民生活に寄与しています。

冬場に知床近辺の他、遠くは厚岸まで、生体を捕獲（囲い罠）しに行き、ファームで飼育しながら順次食肉等に加工しているようで、多いと年間千頭弱捕獲するとのことでした。

鹿肉の販売は、人気の紅葉鍋セットやしゃぶしゃぶセットのほか、ヒレ、ロース、モモなどの部位別の生肉の販売や、ドッグフードの販売も行っています。平成 24 年には一部商



品が「オホーツクブランド」にも認証され、鹿肉は「北海道 HACCP」の交付や六次産業化法に基づ

く総合事業計画の認定を受けており、品質や安全面また、経営面でも評価されています。

現在は直売所での販売は行っておらず、ネット通販と卸のみとなっていますが、北見、遠軽、釧路の一部のコープ札幌店舗や網走市内の居酒屋などにも卸しているそうです。

今回は特別に味付け肉を 4 種類小売りしていただき、食べくらべてみましたが、どれも癖がなく、おいしくいただきました。個人的にはエゾシカ肉のジンギスカンが赤身で柔らかく、特に気に入りました。次は鍋セットにチャレン

ジしたいと思います。

鹿肉は高タンパクで低カロリー、鉄分も高く（牛肉の 3 倍）、お勧めの食材とのことですので、皆さんも紅葉の季節に「知床もみじ」をぜひお試しください。

ジしたいと思います。



【住 所】北海道斜里郡斜里町字真鯉 223 番 5

【お問合せ】株式会社 知床エゾシカファーム 食肉センター

TEL (0 1 5 2) 2 8 - 2 2 0 1

【H P】<http://www.shariken.co.jp/ezoshika/index.html>

【わが村団体活動情報】

◎「映画上映会&ミニトーク会」を開催します！！（七飯町）

<わが村団体名：ななえの食を考える会>

学校給食は子どもたちの健康と成長を支えるだけでなく、食について学ぶ生きた教材の役割も担っています。

「学校給食から地域の食や農を見直していこう！」「地場産やオーガニックを取り入れていこう！」という動きが活発になっています。上映会を通じて、一緒に考えてみませんか？

【開催日時】11月1日（水）

① 午後の部 13：30～

② 夜の部 19：00～

*開場30分前 各回約1時間半で終了予定

【開催場所】七飯町文化センター201大会議室

（七飯町本町6丁目1番2号）

【上映映画】『希望の給食』

【募集定員】各50名

※参加費、トーク会の内容等詳細は、SNS

またはお問合せによりご確認ください。

子どもたちが学校で毎日のように食べる給食。
給食は、子どもたちの健康と成長を担うだけでなく、地域の食と農を結びつけます。
どのような食材を使うのか、費用負担をどうするか、誰に提供するのか。
給食をめぐる選択は、どのような地域を実現するのか、という「自治」の実践と切り離せません。
日本と韓国の事例から、地域の未来を形作る給食のあり方を考えます。

事例紹介 千葉県いすみ市／長野県松川町／東京都武蔵野市／韓国ファソン市

【お申込・お問合せ】 ななえの食を考える会

E-mail : nanashoku2015@gmail.com

TEL : 090-9754-3612

※事前申込みが必要です。参加される方全員のお名前・年齢・連絡先電話番号・居住地と

①午後の部または②夜の部のいずれかを明記の上、メールでお申し込みください。

【SNS】 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100057733476518>

◎北方領土を間近に望む 本土最東端パノラマ・クルーズ！（根室市）

<わが村団体名：歯舞地区マリナビジョン協議会>

歯舞地区マリナビジョン協議会では、漁業振興と都市漁村交流などの取組を行っており、その一環として冬季のクルージングを実施しています。



納沙布岬からわずか3.7km先は北方領土の貝殻島灯台。クルーズ船は歯舞漁港を出発し、その半分の1.85kmまでしか近づくことはできませんが、周辺海域は日本でも有数の海鳥飛来地であり、更に機会が合えばクジラ、ラッコ、アザラシ、イルカなどにも出会える可能性があります。陸地からでは味わえない新たな風景を求めて乗船してみたいはいかがでしょうか。



※乗船者全員にオリジナル

トートバッグをプレゼント！



【開催期間】 令和5年11月1日～令和6年4月30日（前日までの予約制）

【出航時間】 ①9：30 ②12：00（所要時間約2時間）

【乗船予約・お問合せ】 歯舞漁業協同組合 指導部・遊覧船係（根室市歯舞4-132-2）

TEL : 0153-28-2124



定員 12名 船内休憩室・トイレ完備 船員2名が同乗いたします。

ルート
歯舞漁港→納沙布岬・貝殻島灯台中間点→歯舞漁港 **所要時間約2時間**

運航 期間：毎年11月1日～翌年4月30日
●前日までの予約制 (3名に満たない時は運航を中止する場合があります)

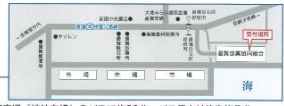


①出港09:30 入港11:30 (予定)
②出港12:00 入港14:00 (予定)
※期間を通じ、運航時期はご相談に応じます(要予約)
天候等の事情により、出港遅れであっても、航路の変更又は運航の中止となる場合があります。
ご予約を受けましても、漁業視察その他の事情により、運航を中止し、又は航路を変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

この海域で見られる海鳥、哺乳類リスト
・ミンクジラ ・ゼニガタアザラシ ・ウミウ ・コオリガモ ・オオセウロカモメ
・カマイルカ ・オオワシ ・ヒメウ ・クロガモ ・シロカモメ
・イシイルカ ・オシロワシ ・シノリガモ ・ホオジロガモ ・ウシカモメ

料金
大人 7,000円 小・中学生 3,000円 (保護者同伴) ※10人以上の団体乗船については**10%割引**

チケットの予約・販売・乗船受付・待合場所
北海道根室市歯舞4-132-2
歯舞漁業協同組合
指導部・遊覧船係
TEL 0153-28-2124



アクセス
JR花咲線根室駅前バスターミナルより、根室交通「納沙布線」のバスで約30分。バス停より徒歩約5分。

乗船について
安全確保のため未就学児童・車イスの方は乗船出来ませんが、身体に障害のある方は乗船できる場合がありますので事前にご相談下さい。
可燃物、ハサミ・ナイフ・カッター等の刃物、着火器具等の危険物、貴重品等の貴重品やペットの持ち込み及び保管はお断り致します。気分が悪くなった場合は船内の休憩室(5名程度)にてお休みください。

◎「第37回タンチョウクイズ」

～タンチョウの数を予想して素敵な賞品をGETしよう！～ (鶴居村)

<わが村団体名：NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会>

鶴居村観光協会では、今年も釧路圏で確認されるタンチョウの数を予想するクイズを行っています。ピッタリ賞として正解者の中から抽選で1名様に現金10万円、さらに応募者全員の中から抽選で豪華プレゼントが当たります。

応募は鶴居村観光協会ホームページ内のタンチョウクイズ特設サイトよりご応募ください。

WEBからのみの応募となります。たくさんのご応募お待ちしております！

【応募締切】令和5年11月30日(木)

【応募締切】令和5年11月30日(木) / 【発表日】令和6年1月中旬以降
WEBからのみの応募となります(ハガキ、FAXでの応募は無効)

ピッタリ賞 現金10万円 1名様		
※ピッタリ賞がない場合は、正解に一番近い数字を予想した方が抽選いたします。ピッタリ賞当たらなくても、さらにチャンス!		
JAL賞	JAL旅行券5万円分	1名様
釧路プリンスホテル賞	宿泊招待券	1名様
ホテルグリーンパーク賞	宿泊招待券	1名様
つるいむら温泉ホテル賞	宿泊招待券	1名様
HOTEL TAITO賞	宿泊招待券	1名様
鶴居村陸奥館賞	チーズギフトセット	5名様
鶴居村観光協会賞	鶴居村産はちみつ	10名様

【発表日】令和6年1月中旬以降

【お問合せ】NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会 TEL：0154-64-2020

【HP】<https://tsurui-kanko.com/1078/>

◎毎年恒例『遠農高マルシェ』開催！！（遠別町）

<わが村団体名：北海道遠別農業高等学校>

毎年恒例、遠別農業高等学校の生徒が作ったパン、肉加工品、もち米、野菜などが販売される遠農高マルシェ。今期は9月13日（水）の第1回、10月27日（金）の第2回に続き、11月15日（水）に第3回が開催されます。

遠農高マルシェとは、生徒たちが生産に携わっている加工品や農畜産物の販売をとおして、地域住民の方々に



学校の活動を知ってもらおうと、例年7月から12月まで毎月1回程度、生徒自ら接客や販売を行うという実習の1つです。ここ数年はコロナ禍もあり、10月から12月まで3回の販売となっていました。今年はいくらか多く開催できそうです。

時期により販売するものは変わりますが、人気の「パウンドケーキ」や「じゃがいも詰め放題」「羊肉スライス」のほか、「ペリーラ（赤しそジュース）」「菓子パン」「たまねぎ」などなど、平日ではありますが遠別町へお越しの際は遠別農業高等学校へ、是非お立ち寄りください。

【開催日時】令和5年11月15日（水）

12：55～13：40

【開催場所】北海道遠別農業高等学校



(〒098-3541 北海道天塩郡遠別町字北浜74番地)

【お問合せ】 T E L : 01632-7-2551 (職員室)、 F A X : 01632-7-2376 (事務室)

【H P】 <http://www.enbetsunougyou.hokkaido-c.ed.jp> (北海道遠別農業高等学校)

<http://en-nou.com/life/marche.html> (遠農高マルシェ)

【お知らせ】

◎「北海道グリーンツーリズムラストフォーラム」が開催されます！

(北海道グリーンツーリズムラストフォーラム実行委員会)

11月29日(水)に北海道グリーンツーリズムが主催するフォーラムが開催されます。その中で、わが村団体の「レイクヒルファーム」、「えづらファーム」、「いただきますカンパニー」が参加し、事例紹介やトークセッション等が行われますので、皆様奮ってご参加ください！

お申込方法など詳しくはチラシをご覧ください。



北海道グリーンツーリズム ラストフォーラム開催

日時：2023/11/29(水) 15:00~17:30 (14:30~受付)
会場：EZO HUB SAPPORO(サツドラ本社)
(札幌市東区北8条東4丁目1-20サツドラホールディングス株式会社本社2階)
フォーラム参加費：無料(先着80名)
懇親会費：2,000円(軽食・飲物) 18:00~19:00

趣旨

北海道でグリーンツーリズムの取り組みを拡げようとする活動が始まったのが約30年前のこと。農村の価値を高めること、そして交流を図ることで都市の人に農村への理解を深めてもらう事が主な目的でした。時代が変わり、伝え方の方法やネットワークの在り方も変化した今、長らく活動してきたグリーンツーリズムネットワークも一区切りする時が来ました。今回は、次世代につなぐきっかけとして、このフォーラムを実施いたします。

フォーラム内容

全ての業界で緊急課題になってくるであろう働き手不足の問題に注目します。グリーンツーリズムが副次的な価値ではなく所得向上や人材獲得など一次産業を支える重要な要素となる可能性も含め、3人の先駆者のお話を聞きます。

第一部 事例発表

- ・くらしごと(アルバイト情報社) 伊藤 新氏
- ・レイクヒルファーム 塩野谷 通氏
- ・えづらファーム 江面 陽子氏

第二部 トークセッション

- ・第一部の登壇者によるトークセッション
- ・事前アンケート及び場内からの質疑応答

懇親会 懇親会費 2,000円
会場内にて飲談(軽食付き)

主催	共催
北海道グリーンツーリズムフォーラム 実行委員会	北海道グリーンツーリズムネットワーク

11月29日(水) タイムテーブル

14:30	受付開始
15:30	北海道グリーンツーリズムネットワーク 会長挨拶
15:15	第一部 事例発表 くらしごと(アルバイト情報社) 伊藤 新氏 レイクヒルファーム 塩野谷 通氏 えづらファーム 江面 陽子氏
16:30	第二部 トークセッション パネラー くらしごと(アルバイト情報社) 伊藤 新氏 レイクヒルファーム 塩野谷 通氏 えづらファーム 江面 陽子氏 ファシリテーター いただきますカンパニー 井田 美美子
17:30	終了
18:00	懇親会 同会場にて開催 軽食・飲物をご用意します

お申込方法

実行委員会メール宛に右記内容をお送りください。こちらからの返信メールをもって申し込みとなります。

【お申込締切】
11月22日(水)
締切日前でも募集人数に達しましたら募集を締め切らせていただきます。

送先：greentn.ec@gmail.com

- ① 会社名/所属団体名
- ② 参加者のお名前(複数場合は全員)
- ③ 懇親会への参加有無

お問合せ 一般社団法人 En 正保
電話：090-7583-8927
Mail：greentn.ec@gmail.com

【開催日時】 令和5年11月29日（水）15:00～17:30（14:30～受付）

【開催会場】 EZO HUB SAPPORO(サツドラ本社)

（札幌市東区北8条東4丁目1-20 サツドラホールディングス株式会社本社2階）

【その他】 フォーラム参加費：無料（先着80名）、申込締切：11月22日（水）

【お問合せ】 一般社団法人En（正保） 電話：090-7583-8927 Mail：greentn.ec@gmail.com

【活動支援メニュー】

○農山漁村の案内に役立つ [便利帳]（北海道農政部）

北海道では「緑豊かな農山漁村において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」であるグリーンツーリズムを推進していますが、地域資源を生かした観光コンテンツや情報発信の不足といった課題が浮き彫りとなってきたことから、平成29年より、農林漁業者と観光業をはじめとする多様な主体が連携し、地域ぐるみで所得向上や交流促進により地域の活性化を目指す新たなツーリズムとして「農村ツーリズム」を推進しています。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」よりおすすめ情報をご紹介します。詳細は、北海道経済部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々に応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマ

ーケティング活動に役立てて頂くことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（テスト販売期間：第4四半期（1月～3月））

令和5年10月1日 ～ 令和5年11月20日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【HP】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○『北海道つながるモール～SOS掲示板～』掲載企業募集のご案内（札幌商工会議所）

道内食品関連企業が抱える過剰在庫の解消・販売促進の支援を目的に、在庫処分にお困りな企業・店舗の情報や商品を公開し、購入希望の一般消費者や業者へ広く周知を行うための"特設掲示板"を開設いたしました。

北海道つながるモール～SOS掲示板～は、こちらからご覧ください↓

<https://sos.sapporo-cci.or.jp/sos-1.html>

【飲食料品の掲載に関するお問合せ】札幌商工会議所 国際・観光部 食産業・貿易課

電話：011-231-1332 FAX：011-222-5215

【物品等の掲載に関するお問合せ】札幌商工会議所 産業部 生活・サービス産業課

電話：011-231-1374 FAX：011-231-1078

【HP】 <https://www.sapporo-cci.or.jp/web/purpose/02/details/sos.html>

○助成金情報（公益財団法人 北海道地域活動振興協会HP）

公益法人、民間企業などの助成事業等が掲載されていますので、ご参考まで↓

【URL】 <http://www.fureaizaidan.or.jp/SubsidyList.php>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【U R L】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

例年以上に暑く、また長く感じた夏も終わり過ごしやすい季節になりました。

秋と言えば読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋、そして食欲の秋。栗やサツマイモを使ったお菓子が目に付くようになると秋が来たなあと感じます。

ところで皆さんは芋掘り体験をしたことはありますか？ 本州では芋掘り体験といえばサツマイモが主流で、幼稚園や小学校などの秋の行事として定着している所も少なくないようです。一方、北海道では芋掘りといえばじゃがいもが主流。さすがはじゃがいも生産量日本一といったところでしょうか。

サツマイモは名前のとおり暖かい地域の作物で、国内生産量第1位は鹿児島県。かつては福島県あたりがサツマイモの栽培の北限とされていました。

近年では温暖化の影響や栽培方法の工夫、寒さに強い品種の登場などで北海道でもサツマイモの栽培が本格化してきており、全国有数のサツマイモの産地になる日もそう遠くないのかもしれませんが。

生産者の皆さんに感謝しつつ、実りの秋を堪能したいと思います。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階
↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。
<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。
配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、
Microsoft Edge等を使用して接続してください。
